

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	トマト21a、ほうれんそう9a、水稻150a
自家労働	2.0人
その他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		◎————□□□□□□□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)												
種 類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割 合 (G)	自己資本 利 子 (f) × (G) × 利子率
作業場兼農機具庫	木・瓦	30 m ²	1,980,000	12	231,000	231,000	15	15,400	8	107,800	100	4,312
低コストハウス雨よけ	6m×50m	4 棟	9,300,000	100	9,300,000	9,300,000	10	930,000	5	4,650,000	100	186,000
低コストハウス耐雪	6m×50m	3 棟	8,325,000	70	5,827,500	5,827,500	10	582,750	5	2,913,750	100	116,550
トラクタ4WD	25ps4WD	1 台	2,840,200	12	331,357	357,922	7	51,132	4	126,830	50	3,068
ロータリ	160cm	1 台	440,000	12	51,333	51,333	7	7,333	4	22,000	50	440
動力噴霧機	6ps	1 台	614,900	70	430,430	430,430	7	61,490	4	184,470	100	7,379
養液土耕装置	一式	1 台	1,753,000	70	1,227,100	1,227,100	7	175,300	4	525,899	100	21,036
管理機	6.3ps	1 台	310,200	70	217,140	217,140	7	31,020	4	93,061	100	3,722
背負式動力噴霧機	空冷2サイクル	1 台	70,400	70	49,280	49,280	7	7,040	4	21,120	100	845
軽トラック	660cc	1 台	1,200,000	12	140,000	140,000	4	35,000	2	70,000	100	2,800
合計			26,833,700		17,805,140	17,831,705		1,896,465		8,714,930		346,152

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
トマト	りんか409 (台木：グリーンフォース)	雨よけ・夏秋	11,500kg	水田転換畑	20a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10 a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
耕起	4/下	セルカ 2 号	100kg	ロータリ		2.0	1	2.0	軽油 6 ガソリン 4.0
ハウス被覆	4/上～中	P Oフィルム		人力			2	24.0	
元 肥 畝 立 て マ ル チ	4/下～5/上	スーパー I B 2 2 2 菜種油粕 シルバーマルチ かん水チューブ	30kg 40kg 500m 500m	管理機		2.0	2	26.0	
支 柱 立 て	5/上～5/中	イボ竹 エクセル線 ハウスバンド	1900本 1,000m 5,000m		○ 1 株ごとにイボ竹を立て、最上部に エクセル線、その他はハウスバンド を横にわたし固定する。		2	20.0	
定 植	5/下	苗	1,900本		○ 1 段花房が萼割れし始めた頃、株間 50cmで定植する。		2	36.0	
誘引・摘芽・ 摘果	6/中～9/上	テープナー			○生育に応じて誘引し、摘芽は早めに おこなう。 ○第1,2果房は3～4果、以降は4～5果 を残して摘果する。		2	188.0	
ホルモン処理	6/上～8/下	トマトトーン ジベレリン	400ml 120ml		○各花房 2 ～ 3 花開花時に処理する。 ○高温時は空洞果予防のためジベレリン を混用する。		2	40.5	
葉面散布	6/中～9/中	カルプラス	1リットル	背負式動力 噴霧機	○着果が確認されたところから10日間隔で 散布する。	15.0	1	20.0	混合 15
か ん 水	6/上～9/下			養液土耕装置	○第 2 果房開花までは控えめに、以降 は天候に応じてかん水する。	25.0	1	5.6	
追 肥	6/中～9/上	OK-F-3	100kg	養液土耕装置	○ 2 段花房開花時に第 1 回の追肥を行 い、その後各段の開花時に追肥する		1	3.5	
摘 葉	8/上～9/下				○病気の葉やムレ葉を取り除く。		2	80.0	

技術体系

項目 長田洋介	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消 費 量 (ℓ/10 a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人 員	延労働 時 間	
作業名									
病害虫防除	6/上～10/上	タ [®] イシ [®] ン粒剤5 ジ [®] マンタ [®] イセン水和剤 スピ [®] /エース顆粒水和剤 カスミンボ [®] ルト [®] ー ウララDF タ [®] コニール1000 ラノテープ [®] アニキ乳剤 スミ [®] フレント [®] 水和剤 ランマンフロアブ [®] ル ブ [®] レオフロアブ [®] ル アフェットフロアブ [®] ル コルト顆粒水和剤 タ [®] イメリットDF ファンタシ [®] スタ顆粒水和剤 アファーム乳剤 ブ [®] ロボ [®] ース [®] 顆粒水和剤 ロブ [®] ラール水和剤 ク [®] レーシア乳剤 バ [®] レート [®] 20フロアブ [®] ル アデ [®] イオン乳剤 ヨーケ [®] ンアクセル ヨーケ [®] ンスロー	4kg 125g 80g 200g 250g 200ml 10㎡ 100ml 150g 300ml 300ml 150ml 150g 200g 150g 300ml 600g 300g 300ml 300ml 150ml 3kg 3kg	動力噴霧機	○生育状況に応じて葉面散布剤を500倍 で混用する。	13.0	2	13.0	ガ [®] ソリン 20.0
収穫・出荷	7/中～11/上	タ [®] ンボ [®] ール他	2,875ケース	軽トラック	○共同選果場利用	10.0	2	390.0	ガ [®] ソリン 10.0
後片付け	11/上～11/下				○残さはほ場外へ持ち出し処分する。		2	65.0	
堆肥散布	11月下旬	堆肥	2t	トラクタ		4.0	2	12.0	軽油 12
合 計								925.6	

5 経営試算(10a当たり)

区分		科目	金額	説 明
粗収益		主産物価額③	4,105,500	生産量①：11,500 kg 単価②： 357 円/kg
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		主産物価額	0	生産量： 単価：
		副産物価額④	0	
		計 (A)	4,105,500	
生産費	生産原価	種 苗 費	319,200	
		肥 料 費	107,058	使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	119,842	〃
		諸 材 料 費	140,613	〃
		動力光熱費	36,886	
		農 具 費	47,902	機械負担価額×4％
		建物等修繕費	149,747	建物・構築物負担価額×1％、ビニール更新費
		賃 料 料 金	0	
		共 済 掛 金	15,147	
		雇 用 労 賃	0	
		減価償却費⑤	903,079	別表のとおり
		土地改良費	8,750	
		支払地代⑥	0	
		小計 (B)	1,848,224	
	販売費一般 管理費	出荷資材費	299,000	
		販 売 諸 費	1,312,438	
		諸税負担金	11,547	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	16,136	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	835	借入資本利率2％
		小計 (C)	1,639,956	
経 営 費 (D)		3,488,180	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧		1,252,810	農 従 労 働 時 間： 925.6 生産管理労働時間 38.1 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)		4,740,990	主産物単位当たり 412 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④	
自己資本	流動資本利子⑨	76,742	注) ⑨= ((E)－⑤－⑦) / 2×0.04	
利子(F)	固定資本利子	164,834	利率4％	
自 作 地 地 代 (G)		11,000		
全算入生産費 (H)		4,993,566	生産物単位当たり 434 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)		617,320	時間当たり 641 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)		15	注) (J) = (I) ÷ (A) ×100	
農企業利潤 (K)		-888,066	注) (K) =③- (H)	
家族労働報酬 (L)		364,744	時間当たり 378 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)		-635,490	注) (M) = (I) -⑧	

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
堆肥散布・耕起												2.0																			12.0				14.0		
ハウス被覆										12.0	12.0																							24.0			
元肥・畝立て・マルチ												13.0	13.0																					26.0			
支柱立て・誘引ヒモ張り													5.0	15.0																				20.0			
定植															36.0																			36.0			
誘引・摘芽・摘果																4.0	16.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0									188.0				
ホルモン処理															4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5										40.5				
薬面散布																2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0									20.0			
かん水													0.5	0.1	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.2	0.1								5.6			
追肥																		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5										3.5			
摘葉																					4.0	4.0	4.0	4.0	32.0	32.0								80.0			
病虫害防除																1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							13.0			
収穫・出荷																			32.0	45.0	50.0	58.0	45.0	58.0	32.0	32.0	13.0	13.0	8.0	4.0				390.0			
片付け																													5.0	30.0	30.0				65.0		
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	12.0	15.0	18.0	15.5	36.1	5.8	12.0	24.0	32.5	64.5	77.5	86.5	94.5	81.5	89.9	67.2	65.1	14.0	13.0	13.0	34.0	30.0	12.0	0.0	0.0	0.0	925.6

生産管理労働時間

(38.1)